



# 緑樹

発行者

清川村立緑中学校

清川村煤ヶ谷1933

046-288-1241

令和5年6月臨時号



5月31日(水)の下校途中、緑中学校の生徒たち数名は、八幡神社と尾崎交差点の間あたりで、うずくまっている小学生1年生の児童を見かけました。

中学生たちは児童に声をかけたのですが、動けそうもない状況でした。帰宅後、塾へ行こうとしていた別の生徒が通りかかり、持っていた携帯電話で、児童の家へ連絡したのですが繋がりませんでした。そこで、みんなで励ましながら、おんぶしたり抱っこしたりしながら、児童を自宅まで送っていくことにしました。

その日の夕方、児童の保護者から緑中学校に連絡がありました。「今日、中学生たちが、下校途中のうちの子を助けてくれ、家までおんぶしながら送り届けてくれたと聞きました。本当にありがとうございました。中学生たちにお礼を伝えたいのですが、全員のお名前が分からなかったので学校へ連絡しました。ぜひ、助けてくれた中学生たちに伝えてください。」とのことでした。

また、緑小学校の船津校長からも連絡がありました。「下校中に中学生が本校の児童を助けてくれたと、その児童の母親から連絡がありました。お名前は分かりませんが、心優しい中学生がいてくれたことに

感謝しています。ぜひお礼を伝えてください。」とのことでした。

6月1日(木)の朝の会で、概要を伝えたところ、3年生6人と1年生1人であることが分かりました。

生徒たちは、「うずくまっている小学生がいたので、どうしたの？大丈夫？などと声をかけました。」「小さい子がつらそうにしているの、何とかしなければいけないと思い、みんなで助けました。」「人助けができてよかったと思います。」と、笑顔で話してくれました。

困っている小学生を見かけたときに助けることができた、心優しく行動力のある緑中学校の生徒たちを誇りに思います。

これは、1つの事例ですが、きっと多くの生徒たちが、勇気を持って心優しい行動をしていることと思います。そのような気持ちと行動の1つ1つが積み重なることで、周囲の人たちの優しい気持ちを作っていくのだと思います。

地域の宝である子どもたちは、次の宝を大切にしており、清川村に宝物が増えています。